

花ひらく仏教美術

*The First Full Flowering of Buddhist Art in Japan*

白



開館120年記念特別展

*Special Exhibition Celebrating the 120th Anniversary of the Nara National Museum*

Hakuhō

鳳



国宝 阿彌陀三尊像(伝橘夫人念持仏)(奈良・法隆寺)

愛らしく美しい、みほとけの時代

2015年

7月18日|土| - 9月23日|水・祝|

■休館日=毎週月曜日と7月21日(火) ※ただし7月20日(月・祝)、8月10日(月)、9月21日(月・祝)は開館  
■開館時間=午前9時30分~午後6時 ※毎週金曜日と8月5日(水)~15日(土)は午後7時まで ※入館は閉館の30分前まで

■主催=奈良国立博物館、読売新聞社、NHK奈良放送局、NHKプラネット近畿

■後援=文化庁、奈良県、奈良テレビ放送

■協賛=関西大学、きんてん、清水建設、大和ハウス工業、ダイワボウ情報システム、天理時報社、非破壊検査  
■協力=日本香堂、仏教美術協会



奈良国立博物館  
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内)  
NTTハローダイヤル 050-5542-8600

関西から

文化力  
POWER OF  
CULTURE

重要文化財 伝虚空藏菩薩立像(奈良・法隆寺)  
※9月13日まで展示

国史 日光菩薩立像(奈良・法隆寺)  
※9月13日まで展示



# 若々しく、愛らしい。

飛鳥でも天平でもない白鳳の魅力が一堂に。

白鳳とは七世紀半ばから都が平城京に遷った七二〇年までの時期をさす言葉として、美術史学や考古学を中心に用いられてきました。

白鳳期には乙巳の変大化の改新を経て新しい国造りが行われ、後期にはわが国最初の本格的都城である藤原京が造営されました。

朝鮮半島の国々との交流は盛んに行われ、大陸の文化が絶えずもたらされた時代でもありました。藤原京及びその周辺には大官大寺や薬師寺、山田寺など壮麗な伽藍が建立され、

寺院の造立は全国へと広がっていききました。今日、白鳳期に作られた金銅仏や木彫仏、あるいは塑像、埴土、そして堂内を美しく飾っていた壁画などが伝わっています。

とりわけ、白鳳の仏像は若々しく、時には童子を思わせるような愛らしい姿を見せるものもあり、飛鳥時代や奈良時代の仏像とも違う魅力を見せています。また、山田寺や川原寺の軒丸瓦に見るように、白鳳の瓦の文様はきわめて完成度が高く、この時代に優れた造形性が存在していたことがわかります。本展では彫刻と考古遺品を中心に、工芸品、絵画作品、文書にいたる白鳳の代表約百五十件を展示し、白鳳文化の全容に迫ります。



●阿彌陀三尊像 (東国古寺遺物、法隆寺蔵納聖徳)

●弥勒菩薩半跏像 (天慶寺蔵、  
[展示期間 7/19 - 9/19])



三尊埴土 (川原寺蔵山田寺跡出土、奈良明日香村)



●釈迦如来像 (東国古寺蔵)



## I 白鳳文化の幕開け

### 第二章 山田寺の創建

大化の改新後、難波・飛鳥、近江へと遷都され、都には壮麗な寺院が建立されました。このコーナーでは白鳳文化の幕開けを紹介いたします。山田寺は大化の改新の立役者、飛鳥山田寺が飛鳥に建立した寺院です。興福寺の仏殿は山田寺の仏像として六八五年に完成したと考えられる白鳳期を代表する仏像です。

●聖観世音菩薩立像 (奈良、興福寺)



## II 薬師寺の創建 金銅仏の諸相

### 第三章 金銅仏の諸相 I

### 第四章 薬師寺の創建

薬師寺は天武天皇が皇后(後の持統天皇)の病氣平癒を祈って六八〇年に発願し、持統天皇が造営を引き継いだ寺院です。薬師寺は宮の大事として藤原京の南西に位置しましたが七二〇年に都が平城京に遷った際も船のほは同じ位置に造営されました。これが今日の薬師寺です。薬師寺には白鳳期に源流を持つ寺院ならではの美術が伝わっています。また、白鳳期は寺院の建立が飛躍的に増えた時代です。今日数多く伝わる白鳳の金銅仏はその様子を伝えています。

●文殊菩薩立像 (奈良、法隆寺)



●観音菩薩立像 (夢達院蔵、奈良、法隆寺)



注ぎ口は龍をかたどり、胴には天馬の姿が彫られた国際色豊かな白鳳期の名品  
●龍首水瓶 (東京国立博物館蔵、法隆寺蔵納聖徳)

## III 法隆寺の白鳳

### 第六章 法隆寺の白鳳

### 第七章 法隆寺金堂壁画と大型多尊埴土



●押出阿彌陀五尊像 (東京国立博物館蔵、法隆寺蔵納聖徳)



●持国天立像 (奈良、東大寺)

## V 変わりゆく社会

### 第十章 藤原京の造営

白鳳期は激動の時代でした。壬申の乱における大海人皇子(後の天武天皇)の勝利、伝統的貴族たちの没落、巨大な古墳の消滅、新たな世の中のための法律制定、戸籍づくり、さらに初の本格的な都城、藤原京の完成など、目まぐるしく社会が変わりました。藤原京や高松塚古墳から出土した考古遺品から、仏教美術を生み出した白鳳の土壌を想像してみましょう。



# 🎉おかげさまで120年🎉

奈良国立博物館は日本の心をつないできました。

明治28年(1895年)、廃仏毀釈によって荒廃・散逸する文化財を守るため、古都・奈良に仏教美術の専門館が生まれました。東京国立博物館に次ぐ、日本で2番目に古い博物館です。開館よりこれまでに2千万人を超える人々が訪れました。

## ■開館120年記念展示

当館地下回廊にて、開館から120年の歴史をふりかえるパネル展示を行います。  
会期:7月18日(土)～9月23日(水・祝)

■Daiwa Sakura Aid presents

「DEPAPEPE 雨男 vs 野外シリーズ2015」

奈良国立博物館開館120年記念

～音燈華 DEPAPEPE Concert～

日時:9月12日(土)午後5時30分開演

会場:仏教美術資料研究センター特設会場

出演:DEPAPEPE

◎料金:前売5,300円、当日6,000円

※内容、申し込み方法など詳細はサウンドクリエイターまで

電話:06-6357-4400 ホームページ:http://www.sound-c.co.jp

## 【関連イベント】

### ■白鳳フォーラム

日時:7月25日(土)午後1時30分開演(午後1時開場)

会場:東大寺総合文化センター 金鐘ホール

プログラム

- 基調講演「白鳳仏にみる生命の輝き」金子啓明氏(興福寺国宝館館長)
- パネルディスカッション「白鳳文化の時代背景～激動の時代と仏教～」  
＜パネリスト＞ 里中満智子さん(マンガ家)、上野誠氏(奈良大学教授)、  
内藤栄(奈良国立博物館学芸部長)
- ＜コーディネーター＞ 中村宏(NHKアナウンサー)

◎定員:300名 ◎料金:1,000円

※フォーラムのチケットは、6月1日(月)からローソンチケット(☎0570-084-005、Lコード57594)と当館観覧券売場で限定300枚を販売します。全席自由席です。フォーラムのチケットを本展覧会中に当館観覧券売場で提示すると、当日券料金の各300円引きになります。(他の割引併用不可)  
主催:奈良国立博物館、読売新聞社、NHKプラネット近畿

## ■公開講座

「天武・持統天皇の理想の都ー藤原宮と新益京ー」

8月 8日(土)木下正史氏(東京学芸大学名誉教授)

「東アジアのなかの白鳳仏」

8月22日(土)藤岡穂氏(大阪大学大学院教授)

「白鳳寺院を飾った工芸」

9月 5日(土)内藤栄(奈良国立博物館学芸部長)

「白鳳の童形仏とその周辺」

9月19日(土)岩田茂樹(奈良国立博物館上席研究員)

時間:午後1時30分～午後3時(午後1時に開場し、入場券を配付します)

会場:当館講堂

◎定員:各194名(先着順) ◎聴講無料

※ただし、入場の際には、本展の観覧券もしくはその半券、国立博物館パスポート等をご提示ください。

## ■第44回 奈良国立博物館 夏季講座「白鳳ー歴史と美術ー」

日時:8月18日(火)～20日(木)

会場:奈良県文化会館 国際ホール(近鉄奈良駅から徒歩約5分)

◎定員:600名(事前申し込み制)

※内容、申し込み方法など詳細は当館ホームページで。

## 【観覧料金】

		一般	高校・大学生	小・中学生
当	日	1,500円	1,000円	500円
前	売	1,300円	800円	300円
団体・サマーレイト		1,200円	700円	300円

※団体は20名以上

※観覧券は下記の窓口にて販売します。(前売券の販売は6月1日(月)から7月17日(金)まで、当日券の販売は7月18日(土)から9月23日(水・祝)まで。)

当館観覧券売場、近鉄主要駅、近畿日本ツーリスト、JR東海ツアーズ、JTB、日本旅行、ローソンチケット(Lコード:58263)、セブンイレブン、チケットぴあ(Pコード:766-832)、イープラスなど主要プレイガイド、コンビニエンスストア  
※チケットの購入時に手数料がかかる場合もあります。

※サマーレイト券は、毎週金曜日と8月5日(水)～15日(土)の午後5時から入場できるチケットです。(当館観覧券売場のみで、午後5時から販売します。)

※障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料。

※なら仏像館は改修工事のため休館しています。青銅器館は無料開館しています。

## ■講演とコンサート 白鳳を五感で感じる

日時:8月21日(金)午後2時～午後3時30分(午後1時30分に開場し、入場券を配付します)

会場:当館講堂

プログラム ■講演「白鳳文学論断章」 上野誠氏(奈良大学教授)

■コンサート「奈良、過去・現在・未来」デュオ「はろばろ」

吉川友子氏=ピアノ、高橋晴子氏=歌

◎定員:194名(先着順) ◎聴講無料

※ただし、入場の際には、本展の観覧券もしくはその半券、国立博物館パスポート等をご提示ください。

## ■親子鑑賞会

日時:8月25日(火)午後1時30分～2時15分 会場:当館講堂

講師:岩井共二(奈良国立博物館学芸部情報サービス室長)

※解説終了後は、展覧会を自由に鑑賞しながら、親子鑑賞会専用のワークシートに取り組んでいただきます。

応募方法:はがきかファクスに、保護者の氏名(2名まで)と児童の氏名(原則小学生2名まで)と学年、郵便番号、住所、電話番号を書いて、以下の宛先にお送りください。応募は1組4名まで。  
〒530-8551(住所不要)読売新聞大阪本社 文化事業部 「白鳳親子鑑賞会」係  
ファクス:06-6366-2370 問い合わせ:06-6366-1843

※定員180名。先着順で受け付け、保護者に参加証を送ります。応募が定員に達した場合は、締切とします。  
※参加児童は無料で展覧会を鑑賞していただけます。保護者の方は受付で本展の観覧券もしくはその半券、国立博物館パスポート等をご提示ください。  
※参加児童には粗品をプレゼントします。

## ■仏像あたまを作っちゃおう!かぶっちゃおう!

1枚の紙で作るカプリモノ制作・変身ワークショップ

日時:8月8日(土)と9日(日)いずれも1回目は午後1時30分～2時30分、2回目は午後3時30分～4時30分

会場:当館地下回廊

講師:チャッピー岡本(カプリモノ作家)

◎参加費無料

応募方法:はがきに、郵便番号、住所、氏名、参加者の年齢、電話番号、希望日時(例:8日(土)、1回目)を書いて、以下の宛先にお送りください。  
〒540-0012 大阪府中央区谷町3-1-18 NHKプラネット近畿 「カプリモノワークショップ」係  
問い合わせ:06-6945-7101

※定員各回20名。先着順で受け付け。応募が定員に達した場合は、締切とします。  
※小学校低学年までの児童については保護者の付添いが必要です。

## ■薬師寺僧侶による法要・講話

日時:7月30日(木)、8月27日(木)、9月10日(木)いずれも法要は午後2時から、講話は午後2時30分～3時30分

会場:法要は展示室内、講話は当館講堂

◎講話は定員194名(先着順)、聴講無料

※ただし、入場の際には、本展の観覧券もしくはその半券、国立博物館パスポート等をご提示ください。

## ■スタンプラリー

展覧会会期中、白鳳展と、白鳳時代にゆかりの深い興福寺、薬師寺、法隆寺を巡るスタンプラリーを実施します。

白鳳展と2寺院のスタンプを集めればオリジナルの記念品をプレゼント!

詳細は当館ホームページで。

## ■なら燈花会

日時:8月5日(水)～14日(金) 点灯時間:午後7時～9時45分

問い合わせ:0742-21-7515(なら燈花会の会事務局)

奈良国立博物館を含む奈良公園一帯の8つのエリアで約2万本のろうそくが灯りの花を咲かせ、古都の夜を幻想的に彩ります。

なら燈花会ホームページ http://www.toukae.jp/



奈良国立博物館  
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50(奈良公園内) NTTハローダイヤル 050-5542-8600  
奈良国立博物館ホームページ  
(PC用)http://www.narahaku.go.jp/ (携帯用)http://narahaku.go.jp/mobile/

7月中は各日先着50名様に本展オリジナルのポストカードをプレゼント!